

大阪は5年目。今回の会場は国際会議場で最新の設備の場所である。蒸し暑い曇りの空の下、100人を超える先生方が熱心に受講された。

第一講義「中学校教科書で教える経済の仕組み」加藤一誠先生



講義中の加藤先生

はじめに

関西出身なので地元の言葉で使う。東書の教科書をベースに話す。

## 1 準備作業

政府の役割を考える前に、準備作業をする。

準備1：需要曲線の導き方を考える。

ビールのケース。ビール1本に出しても良いという値段を調べて、それを高い順に並べると需要曲線となる。値段と出しても良いという値段の差が、「お得度」すなわち効用である。

準備2：供給曲線の導き方を考える。

コストを考えて、いくらなら提供するかを聞く。それを低い順に並べる。それが供給曲線になる。提供しようとする値段と決まった値段との差が企業の儲けとなる。

横軸から需要曲線や供給曲線を読む→それが準備

ところが教科書ではこの準備を飛ばして説明、さらにいきなり公共財の話に飛んでゆく。

## 2 公共財とフリーライダー

教科書の公共財の説明は不十分。

道路は公共財、ただし二種類ある。一般道路、高速道路の区別は重要。

一般道路は公共財でただとイメージしがちだが、無料の道路はない。

ガソリン税のなかに地方道路税が含まれている。道路の使用料としての税金がある。

ETCのからくり、長期的には距離がこれで分かるので税金を取ろうという計画がある。

有料道路は、ガソリン税+通行料金の二重の負担がある

フリーライダーの発生のおくみ

補充資料でAさん、Bさんの評価で、Aさんがうそをついたとき→フリーライダーの発生と過小供給が発生する(逆の場合は過大供給が発生)

他の例、消火器の例、自分は使わないからいらぬといったケース

教科書で道路が「全く建設されない」とあるが飛躍。  
需要曲線から、ステップを踏めばこの結論が導ける。この論理を理解したうえで生徒に教えたい。

### 3 公共財をめぐって

道路は公共財か？

公共財の定義、二つ、同時に消費できるか？（非競合性） 誰でも利用できるか？（非排除性）がポイント

四つの種類がある 私有財、准公共財が二つ、純粋公共財の計4つ

救急車のケース アメリカでは料金を取るところがある（400ドル）

政府の役割が拡大したところを歴史の学習とリンクさせて教えると一石二鳥。

#### ネタ1：アメリカの有料道路の歴史

アメリカの道路—18世紀は有料道路がほとんど

舗装して早くいける、時間を節約できる、それだけ生産にむかうことができる

倒産する道路がある それを政府が引き受けた

採算が取れないものを政府がやった

無駄な道路というが、無駄でなければ民間がやったであろう。

#### ネタ2：現実の道路整備の基準（無駄な道路の理由）

経済学の基準（余剰概念）のみでは語れない政策

1960年代までは余剰基準でやってきた、人口の多いところに建設（効率基準）

次に、家から1時間程度で高速道路に乗れる（公平基準）生存権的な考え方

#### ネタ3：都道府県別道路損得勘定

地図参照、1973—77年、と1998—2002年の比較

まとめ

- 1 政府の役割を理解させる、なぜ公共財を政府が提供しなければならないのか
- 2 公共財にはいろいろな種類があることに気付かせたい
- 3 公共財（道路）の整備では、効率と公正という基準から整備された。ただし、効率と公正は二律背反ではない
- 4 政府の効率性を考える必要がある（公正のなかにも効率が必要である）

補足：関西の空港問題について

種類を知っておくこと、国管理空港（伊丹）、会社管理空港（関空）、地方管理空港（神戸）

伊丹はかなり儲かっている

合併すると、経済の論理が使える 儲かる便は伊丹、儲からないものは関空となる可能性がある。（成田と羽田）

質疑

- 1 大阪の文化補助の問題はどう考えるか？

A：政治家の需要曲線を政策にしていると考えると良いのではないか。

第二時間目 「新学習指導要領に基づく中学校公民的分野における経済の考え方・教え方」  
文部科学省 樋口雅夫先生



講義中の樋口先生

## 1 前提

授業時間 85 時間から 100 時間に 週 4 時間になる

いままで以上のスピードで進む 生徒の理解は大丈夫かと心配な部分があるかもしれないが、内容は増えていない。枠組みが新しくなったが内容は大幅に増えていない。

## 2 社会科を巡っての動き

税と社会保障の一体化政策が進行している

生徒に身近な問題、関心をぜひ持たせて取り組ませたい

もし関心をもたなければ、数年後の 4 月 1 日に買い物に行って高く払わなければならない現実に直面

おとなでも起こる。今年の住民税の扶養手当控除の廃止、数年前に法案は通っていた。知らなかったでは済まない事例がある。

経済について本格的に学ぶことは中 3 が最初。生徒によっては最後になる可能性もある。

学習指導要領改定の精神

生きる力

習得、活用、探究の三点セット 単に法律が変わったからではなく生徒の現実を踏まえて理解して欲しい

社会科だけでなくすべての教科で行う必要あり しかし、社会科は中核と思って取り組んで欲しい

社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する 一層がポイント

見方や考え方とは、概念を理解する、ただし概念は具体的に転がっていることではない

見方や考え方を持っていることで、現実の動きの背景にあることが分かる、関心を持つことができるはず

公民的分野に関しては、地理歴史の学習を踏まえて、現代社会についての見方や考え方を深める授業すすめてゆくことが大事（グラフを読むのは地理、それを踏まえて公民の授業がある）

### 3 対立と合意、効率と公正に関して

対立と合意は比較的常識的に扱える

効率と公正は難しいかもしれないが大づかみに理解できていれば良い

四つの概念の関係は、対立と合意が状態と目標、その目標に到達するための判断基準のひとつが効率、公正と理解する

### 4 習得、活用、探究に関して

資料を参照されたい。

### 5 経済分野に関して 5点のポイントを紹介したい

- ① 消費からはじまり、生産、流通などまでひろげてゆく
- ② 市場経済では資源配分が基本的には効率的に行われていることを理解する ここで本格的に効率と公正の問題が論じられる
- ③ 金融の仕組みと働きは市場での効率性を高めるものとして理解させる 間接金融、直接金融を理解させる 自分と社会のつながりをお金という身近なものを通して考えさせるきっかけになろう
- ④ 国や地方公共団体が果たしている経済的や役割を考えさせる 生徒にとっては気付かない、なじみがないものを浮かび上がらせることが必要 市長の名前からでも良いのではないか 中学生までの医療費の補助などを考えさせることもきっかけとなる。ともかく具体的に考察させることが大事。提案型の授業もあり
- ⑤ 態度化が大事（最終目標）世の中の動きが先生の力を借りなくても、こんな問題なんだということが概ね理解できることがさしあたりの目標 社会について稚拙でも良いから考えを述べてゆく姿勢ができることが欲しい

### 6 経済学習を充実させるための工夫

- ① 問いを疑問の形ですすめる方法  
なぜ、なぜ 生徒の既存の知識だけでは不十分、ここで教科書などが登場、生徒に発言させながら、発表、論述させてゆく。(読み取り、解釈、説明、論述)
- ② 中学校向けのワークシートの例  
考えた内容や理由を記述する なぜなら、それに、また、と三つは言わせる 思考の見える化が必要 さらに効率と公正など
- ③ 高校向けのワークシートの例  
二項対立の問題の場合、問題提起から主張、理由、理由の裏づけ、留保条件をつけてゆく

### 7 まとめ

### 第三時間目 授業提案

#### 1 「体験型授業の提案」奥田修一郎先生



提案する奥田先生

#### 経済学習の教材作り

生徒がどんなときに乗ってくるかを考えている

身近なもの、CM、通販、回転すし、マクドナルド、カップめん

分業と交換のつながりが意識できているもの

右肩上がりのもの、逆にも注目

社会の仕組みが理解できるもの

グローバル化、ローカリゼーションのもの

自分の行動に落としてみる（行動経済学に注目）

#### 授業の実際

経済は 30 時間程度 どうおさめるか

- ① 最初は、無人島シミュレーションから
- ② 無人島生活の経験を現代におきかえる 住宅メーカーでなくとも携帯電話などでもよい
- ③ 価格の問題 富士山の缶ジュース
- ④ 家計とは 20 年後の家計簿
- ⑤ 広告と正しくつきあうには
- ⑥ 会社って何だろう ここで回転すしを扱う 工夫や努力をハンバーガー屋さん
- ⑦ CSR に注目
- ⑧ もし企業が競争しなければ
- ⑨ あなたは誰だったらお金を貸しますか、借りますか？
- ⑩ 景気変動のしくみ
- ⑪ 円高、円安 クイズ：円高円安クイズ班対抗)
- ⑫ 求人票をみてどの働き方がよいのか
- ⑬ 突然、こんなことを言われたら（ロールプレイで労働法制)
- ⑭ 子どもの口顔より〇顔、何が入る？（ワークライフバランス)
- ⑮ マンションの耐震改修ゲーム
- ⑯ 税金（累進課税)
- ⑰ リカちゃん人形の何が変わった？（消費者問題、製造物責任)
- ⑱ アリとギリギリスの年金問題
- ⑳ 日本はギリシャのようにならないか？

今年の新しい報告

① 回転すし屋の経済学

ハンバーガー屋に転移させて 20 分でレポートを書かせる

レポート例 略

それをどう評価してゆくのか

知識の構造図が問いの構造図になる

基準が明確になる

生徒のレポートの 5 段階評価にする

② 小さな世界問題

世界の二人とのつながり

かつては 6 次 今は 2.3 次 フェースブック

③ インスタントラーメンの経済学

43.7 食は何？

インスタントラーメン

原料は何？ どこから来るの？

油は？ あぶらやしの話

カップ麺から世界が見える WEB21 開発教育教材参照

次は、インスタントラーメンを作る企業に就職したら

安売り競争になっている

それを脱出するには

付加価値の高いものを

それがほんとうにできるの 「ぐーた」のケース

参考：安藤広基「カップヌードルをぶつつぶせ」中公文庫より

2 「便乗値上げを例に道徳で市場経済について考える」高橋勝也先生  
一つの教材（便乗値上げ）を社会科と道徳で教えた事例



提案する高橋先生

3・11 当日の例 友人の教員 3 倍吹っかけられたので 9 時間かけて歩いて帰った  
ガソリンスタンドの行列を見たことがきっかけ

授業の流れは資料参照

一時間目 道徳的な授業 便乗値上げを最後に聞く ほとんどが許せないとの感想

二時間目 社会科的授業 同じテーマ ただし素材は別：ガソリンスタンドの店長になった

### つもりのシミュレーション

4人のケース 君が店長ならどの組み合わせをいくらで売るか？

一時間目と二時間目の結論の違いから何を理解させるか？

教員も最初は許せないといっている それが授業を見学すると「ああそうですよね」という感想を持つ

道徳を担当する教員は、正しいことを前提に話すだけでなく、経済的な観点ももって授業を進めることが大事ではないか

### 四時間目 情報交換会

5つのグループに分かれ、1グループ15分で回る

担当：加藤、奥田、高橋、篠原、野間

講義への質疑、日頃の実践や疑問などを交流するチャンスとして、それぞれのグループで活発な話し合いが行われた。写真は5グループの話し合いの様子。





第二日（8月7日） 立秋。本日も暑い一日が続く。高校の先生対象の一日  
写真は会場から見た大阪の風景。



#### 第一時間目 榊原講義



講義をする榊原先生

広島とほぼ同一内容なので、そちらを参照していただきたい。

#### 質疑

1 取締役会の役割がよくわからない？

A： たしかに委員会設置会社では取締役の意味は明快だが、従来型だと相互監視は働かない可能性はある。

2 上場廃止の基準があいまいなのではないか？

A： 東証ではルールにしたがって粛々とやっている。

3 製造企業が中心の日本ではドイツ型の企業統治が良いのではないか？

A： 企業統治の型は、歴史や国の違いが大きい。どちらがよいかと決めてしまうのではなく、日本の現実にあわせて決めてゆけばよいのでは。

4 日本では法令を超えた施策をやりすぎているのでは、企業統治でも同じでは？

A： 東証でも社内ルールは法令を越えた厳しさがあるが、それは置かれた場所によってやむを得ないものがある。基本は法令に従ってやっている。





講義をする小巻先生

### 1 教科書の記述の問題点

なぜこれを学ばなくてはいけないかが説明されずに内容が書かれている  
また、あやまりが幾つかある

### 2 マクロとミクロの違い

国民所得はマクロ経済学の範囲

教科書ではミクロとマクロが混在しているのが分かりにくいことの原因

合成の誤謬がおこることがうまく説明できない

全体の動きはマクロ経済学に関連する

GDP や国民所得、三面等価はその結果だけがでているだけ

### 3 入試問題からみた国民所得

あやまりや疑問を感じる問題が結構ある、また、疑義を感じる問題もある

入試問題の原則：一社でも書いてあればミスとはいえないというのが原則

暗記科目となっている

### 4 そもそも国民所得とは

マクロ経済学は 1930 年代にできたもの、新しいもの

統計がなかった（物価統計はあった）ので作られ始めた

マクロ経済学が理解しやすくなるための作られた

マクロの考え方がしっかり出ているので暗記にしてしまうのはもったいない

厳密には、資料の図参照

### 5 三面等価の重要性

作られたものは全て消費されているという前提で作られる

残ったものは在庫になり、在庫投資として書かれている

ここから IS バランスが出てくる ここまでやらないともったいない

それを理解させるためには図 7 のように修正して理解させると良いのではないかと

ここからは日本が供給過剰であることがわかる

逆にアメリカは需要過剰である 足りない貯蓄部分は海外から輸入してくる

だったら日本は作らないというわけには行かない

それにもあった配分をしてしまっている、だから政府が登場する  
このように、マクロバランスから、現在の日本の経済を分析することができる

## 6 教科書のあやまりに関して

GNI の N は日本人ではない（経済領域に居住する人）  
あくまでは GDP が中心 D は経済領域のことである  
現実には、国民＝日本人になってしまっている（デファクトスタンダード）  
統計的にも GNP と GDP の差はあまり意味がない  
GDP レベルだけで日本経済の理解は十分ではないか  
なぜここで急に細かい（国民所得は不要）のか理解できない あとで使えない

## 7 デフレーターに関して

GDP デフレターの計算方法は間違い（資料の表記が正しい）  
実質と名目の関係は簡単ではない  
消費者物価指数はパーシェ型で作っている（結果としてそうなっている）

## 8 国民所得でマクロ経済の見方が養える

例：財政赤字の問題 政府がいいかげんでできたのではない  
国債の原資は国民の貯蓄である  
将来困るといえるが、一面あたっているが、一面間違っている  
間違っている部分は、国債は政府の借金、貸してやるのは家計 家計は資産として国債を持っている  
いつまで持つかという点では問題あり  
限界の一つ 日本の貯蓄 1400 兆円 今 1100 兆円 残り 300 兆円  
海外から調達 必ず金利があがる そうなるとゾンビ企業はつぶれる  
教材：リアルタイム 財政 で検索 「借金時計」を見せると良い

## 9 その他

ストックとフローの問題  
お風呂のイメージが一番、新規投資 たまっているのは資産 流れてゆく部分は廃棄部分  
就職の話 学生時代に何をしていたのかが突きつけられる  
重要なのは、どれだけ充実した高校生活を送っているか、そこで得た問題意識や学力をもって大学に来た学生が一番強い  
金融では信用が大事 ただし同じ商品 どこで買うかは個人（君だから買う）信用を持っていることが大事 高校でまじめにやっている学生は信用力が高い 推薦者が多く問題

## 質疑

1 農業などの問題を国民所得のなかで扱えないか？

A：後日回答したい

### 第三時間目 大学入試問題を活用した経済学習の進め方 野間敏克先生



講義する野間先生（8月7日）

内容は、基本的に広島会場と同じ。そちらを参照していただきたい。  
広島との相違は、プライマリーバランスの資料の一部を修正したところ、最後に、中大の期待値の問題を解説したところであった。

### 第四時間目 中川雅之先生



講義する中川先生、受講する先生方

内容は、基本的に広島会場と同じ。そちらを参照していただきたい。  
広島との相違は、効用の組み合わせを選ぶ価値観をグラフ化するという図をいれて補足的に説明する。

（功利主義的な価値観をグラフ化したもの）

社会的な効用=Aの効用+Bの効用 グラフにする-1の傾きを持つ直線になる

最も望ましい社会的な選択の地点は、功利主義の社会的効用の直線と社会的可能性を持つ曲線との接点の箇所となる。

（ロールズ主義の価値観のグラフ化したもの）

ロールズ的な効用は、45度線を出発点とした垂直線と水平線で描ける

もっとも望ましい社会的選択の地点は、実現可能な曲線とロールズ主義の効用線との接点の箇所となる。

## 質疑

1 指導要領を前提に話をしているがそれは狭い見方ではないか？

A：そう思われたら申し訳ないが、教科書などは指導要領に即しているなので、そのレベルで理解してもらえればと思う。

2 民主主義でここまでやってきた成果(憲法を生活の中に生かすというような京都の営み)を否定するような意見はおかしいのではないか？

A：そういう考え方は成り立つだろうが、出発点とした民主主義の問題は存在しているのではないか。一つの問題提起であるので、最終的な価値判断は皆さんにお任せしたい。

3 法と経済って対立的になってしまうと感じたが、接点はないのか？

A：発想方法の違いはあるが、対話を続けることで接点はできるのでは。また、多面的に考えさせることで、合意を目指すような方向もできるのではないか。

以上 記録・文責 新井